

刊夕 日九月八

# 常磐每日新聞

定価 一部金五銭  
 廣告料 五銭 十二字 第一行 金五銭  
 日曜 祭日の翌日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社

## 都の夏

水本 牙子

感受性の強い時代を都で過ごしたせいもあるが、都の夏は私の胸に幾多の魅力を植付けた。

都の夏は今までの灰色の胸をすつかりコバルト色にぬり換る時だ、薫る風、光る舗、道洗はれた街路樹の緑が清々しく石畳にうつてゐる、初夏の午後。

晝下りの太陽を脊一杯にあびて雑踏する漫歩の人達をぬふて商店街を歩く。

歩む人自分にも既に夏は訪れてゐた、埃を拂つたストローハットやバナ、淡もの、帯、訪問着、凡そ近代人のオシャレに必要ならりとあらゆるものが美しく化粧しては我々によびかけてゐる。

新装のなつた三越は近代建築の粋をこらしてぎ然として一角を占領し、何萬、何十萬のパニテイルの亡者共をすひ込んだり吐き出したりしてゐる、その中を黙々として私は凡そ其人達からみればバセテイックな格好で風呂敷包を小脇にかかへて歩いてゐる。

都會病患者！  
 こんな人込の中をメランコな顔をして別に用事も無いのに歩いてゐる人間は凡

てこの都會病に冒されてゐるものと思つて間違ひはない。それでゐて本人は色々な考へを頭に組立てたり崩したりしながら左程メランコでもないのだ。むしろこうしてゐることが一種の楽しみでありエンヂョイして

### ノート

風呂敷など包んだ儘さし出すのは極く親しい間柄に限る

ゐるのだ、私は一ヶ月の間毎日午前女學校で授業を受けて歸途は張り切つた心をバラバラに解放して銀座街を漫歩した。

漫歩してゐるうちに私もこの都會病に冒されて仕まつた。否むしろ餘程重症だつたのだ。

八月十日戌申、白赤口立、二白、新古の問題で迷惑不利を醸す凶日なれば退き守るに吉、三黒、親戚關係に金苦の相談あるも皆延々して、母も明日されは明かにせよ、三碧、我望事達するか大利を得るか吉日なるも目下の

高野 平島 堂前 易断 所象

家相 人事 地相 定数

百 十 十 十

### 市原醫院

平町 田町 電話一四番

者の不時の災禍に注意【四】病氣怪俄不時の災禍を蒙る凶日なれば退き守るに吉【五】深身の屯底に陥り助けを呼ぶ事あれば火難水難に注意【六】警察が裁判に要件の生る事あれば印形火難水難に注意【七】謙遜以て進めば吉利を得る然し病氣怪俄に注意【八】目下の男女に付て家内に風波の起らぬ様又不時の驚事に注意【九】金苦の爲に目上と意見衝突を起し遠行して苦勞を醸す勿れ

## お醬油は ヤマフル

醬油味噌  
 たひら 正宗  
 鱈節 食料品

鹽屋  
 山崎合名會社  
 福島縣平町電話營業部三醸造工場三七  
 明治生命磐城代理店 山崎與三郎

### 看護婦急派

の求めに應じます

平町南町  
 平看護婦會  
 電話三〇七番

### 木村病院

平新川町十九  
 電話一六四番

外産科 婦人科 內科  
 院長 木村寅次郎  
 醫學士 内木宗八

### 夏期中自動車料金値下

夏期中沼ノ内、薄磯、豐間、江名方面行乗客の御便宜を計り左の通り料金値下げ致します。

片濱料金  
 沼ノ内 二十五銭  
 薄磯 二十五銭  
 豐間 三十銭  
 江名 四十銭

期間七月二十五日より八月三十一日迄

片濱乗合營業者

### 小兒科 内科

特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。

平町 ねずみ坂  
 渡邊醫院  
 電話一六一番

### 提灯

愈々舊盆も近づきました御新佛の戒名入提灯を御注文下さい

角形	經形
經六、〇デシメートル	一對房付十五圓ヨリ
五、三同	同 九圓五十銭ヨリ
四、五同	同 六圓八十銭ヨリ
四、二同	同 五圓五十銭ヨリ
三、七同	同 四圓八十銭ヨリ
三、四同	同 三圓二十銭ヨリ
瓜形	同 三圓五十銭ヨリ
經四、六同	同 二圓五十銭ヨリ
四、二同	同 二圓
三、六同	同 圓

尚御好みにより値も品も色々に調製致します。御話下されば早速見本持參御同致します。

平町四丁目  
 スガノヤ提灯店  
 電話九五番

### 磐城共濟病院

電話一四四番

内兒科	皮膚性病科	外科	小兒科
産婦人科	耳鼻咽喉科	X線科	衛生試驗科
藥劑科	事務局長	院長	醫學士
醫學士	醫學士	醫學士	醫學士
近日着任	有馬勇二	石山謙郎	石山謙郎
石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎
石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎
石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎

# 第四校敷地變更は

## 將來極めて有利と

### 委員會の報告書上提

その理由を列挙して

## 本日の町會に

既報第四小學校敷地買収に關する委員會の豫定敷地變更の意見を附した交渉経過の報告書が委員長吉田五平氏の名に依つて本日の町會に上提され夫々の質疑に對し吉田委員長より詳細な答辯あり此の報告書を認めて散會した因に報告書左記の如くである

本委員會は先に附託を受けた任務遂行のため第四小學校豫定敷地一萬四千六百六十六坪に對し豫定價格を三萬七千六百六十四圓と定め全員を五班に分ち地主小野園次郎外二十四名に夫々買収交渉を重ねたる結果地主大半の意嚮を總合するに

一、同地帯水田は將來市街地として發展性あるを以て學校敷地として占用する事は今後本町の進展を阻害する憂ひあり故に豫定敷地を更に南方に變更すと云ふにあり從て豫定地を買収する地主の眞意に添はざる点あるを以て地價其他の關係上交渉の困難なるものと思考す右の事實に徴し本委

會は慎重審議の結果左記の如く意見の一致を見たるに付茲に記述して參考に供す

- 一、既定方針に基き豫定地を買収するには豫定價格以上更に多額の負擔を要し町財政上容易に許容し得ざるものも故に本委員會は本件の重大性に鑑み更に敷地變更の必要に迫らるる場合を豫想し熟慮考究したるに
  - (一) 今後の發展性を多分に有する現豫定地を市街地として活用しうる事
  - (二) 地價の低廉なる事
  - (三) 埋立費を軽減しうる事
  - (四) 高壓電線の移轉により危険を除去しうる事
  - (五) 古川改修工事の實現可能性あるを以て此氣運を促進し水害の憂より脱却しうる事
  - (六) 將來近接村併合の際内郷及飲野兩村一部の通學上便なる事
- 右の結論に到達せるを以て豫定敷地を更に南方(横斷道路：古川)に變更するは本町永遠の都市計畫上極めて有利なるものと認む以上右及報告候也

## 痴遊、伊藤代議士

### 得意の快辯を揮ふ

平町は十一日の夜

赤坂龜次郎氏の應援に代議士痴遊伊藤仁太郎氏が來郡した、同代議士は新講談の創始者にしてその縦横の快辯は世既に定評のある處赤坂候補とは少壯時代から親交ある爲め繁忙中を差繰つて遠征されたものに本日勿來、植田、平窪、明日は好問好樂館、十一日に江名、四倉、内郷第三を濟し午後七時より平町第三小學校に得意の辯舌を揮ふ事になつてゐる

## 警中水泳

### 選手決定

警中水泳部では來る十三日磐炭プールに於て同水泳部と對戦する事になつたが出場選手は左の如く尙九月十日水高プールに於て同校主催の下に開催される關東北

中等學校水上競技大會にも同メンバーが出場すると  
(自由型)先崎正 北野正明 木村元吉 庄司猛夫 菅野正夫 澁谷春雄 佐藤文雄 酒井武 中津秀幸 志賀幸雄(プレス) 國井晴郎 志賀貞介 赤塚兼松(バック) 佐藤文雄 水野秀三郎

## 平青訓の出席

### 半数に満たぬ

成績挽回の策として

### 精勤者に金筋

平町青年訓練所では在籍者五十三名の内出席者が半数に満たぬ成績なので之が對策に就いて考究中であつたが今後は出席獎勵の方法として三ヶ月精勤者には金筋一條を帶用せしむる事となつた

## 植田町を中心にして

### 軟式の野球大會

植田町を中心とする泉村高萩間の軟式野球大會は來る十八日午前八時より植田町小學校に於て同町青年團主催の許に開催されるが出場申込は目下の處十餘チームにて當日の盛會を豫想されてゐる

## 水泳部の

### 部長替る

惜しまるゝ

### 鈴木名部長

警中水泳部をして今日の名聲を擧げしめた部長鈴木寅之丞氏は今回一身上の都合に依り辭任されたので中柴光泰氏が就任したが鈴木氏

は開設以來之が指導の爲め身命を賭してゐた熱心家だけに部員より惜しまれてゐる

果樹害虫驅除 石城郡好問村果樹組合では來る十一日午後一時より同村小學校に於いて果樹類害虫驅除の講習會を催す筈

## 海邊の便り

平第一臨海學校通信 第六信 八・六

今日は新舞子に遠足の豫定です、特別五時起床支度整ひた所に……何と皮間であらう雨がどしや降り一同は空を仰いでため息をついてゐる。九時漸く雨も止み喜び男んで目的地へ行進。歌ふ聲、笑ふ聲……波の音に調和し何とも言ひ知れぬ奇麗なハーモニーをつくつてゐる。九時三十分目的地へ當着。荒い海と異つて波靜かな水面は又格別で海で泳がない人でも泳げる様になりました。しどみ汁を目的に一生涯命水底をさぐつたが思ふ様に得られない……又空模様が悪くなつた、雨でも降らぬ内に歸らうよ。

午後雨の爲に水泳は中止、机に向つて勉強です、今まで一回もかゝつた事のない水泳も今日は残念ながら中止する外ありません。お父様—お母様—も海學校も六日過ぎました。

お父様、お母様のお側から離れ何かに不自由をして居ります、夜中は色々の事が思ひ浮ばれ泣きたくなる事があります。あの懐しい町の燈を頭に描いたり、岸邊打つ波の音を城山の鐘の音を思つたりして、はつ！と我にかへり寂しくなる事も御座います……

お父様—お母様—おそばから離れての自分を漸くみつめる事が出来ました。何と言ふ我儘な自分だつたでしょう、お父様、お母様の真心がひしひしと身に迫つてまいりました。私等立派な人となつて忠孝に生きねばなりません。その第一歩をして今こゝに共同訓練を受け、自治の精神を養ひ、堅忍不拔の精神を鍛へ、自分を強壯にしてゐるのです。それを思ふとき始めて自分の心のあまりに女々しい事に苦笑せずには居られせん。

人間は強く生きなければならぬ、今此所にこうして居ること自身皆忠孝の本であることを自覺したとき、胸は晴れ希望に満ち興奮は次第にさめずや／＼と眠りに入ります。

お父様—お母様—どうぞ御心配なく先生の言葉をよくまもり晴れやかに元氣でお目に掛れる日を楽しみに待つて居ります。

山の頂上を極む事は非常な苦しみを伴ひます、成功する事もやはり幾多の試練困難のおる事を自覺せねばなりません。

# 郷土の偉人

## 陶器に作製して

平第二小學校では郷土室に精彩を添へるべく過般來安藤、澤村、大越の三偉人の石像を胡摩澤澤下陶器店に依頼し作製中の處愈々此の程出來上つたので來る十月八日安藤公の命日をとし偉人祭を催す事になつたが當日は傳記の梗概を題本として劇、唱歌等の學藝會を催す外正面には藩公の寫眞を掲ぐべく平青沼町長を通じて

## 遭難遺族

### 救済金百圓

一昨年の暴風雨で遭難死亡せる石城郡小名濱町佐藤清遺族サト及び四倉町飛田兼吉遺族トラの兩名に對し此程縣水産會より救済金として各百圓宛を交付された

## 新任香西判事の

### 夫人は警女出身

事件の多さは知つて居たと

### 清田検事が語る

新任の平區裁判所新任検事清田一郎氏及び同判事香西景駿氏は昨日午後六時三十分にて各關係者多數の出席を受け着任、本日は緒方監督書記と共に新任挨拶の爲め各官衙其他を歴訪しが清田検事は左の如く語つた

平は初めての土地ですが新聞紙等を通じて炭礦地帯だけに種々な事件が非常に多い事は知つてました、何しろ前任者が手廻家であつたので責任の重さを感じますが大いに勉強する考へです

## 拙い飼養

### 産駒不成績

石城郡下に於ける産駒成績は昭和二年當時の郡下五羅市場出場頭數九百六十八頭（金額八萬七千七百五十五圓）に比較し本年は八百六頭（金額三萬七千四百十三圓）で頭數で百六十二頭、金額は四萬九千七百四十三圓と激減して居る此の原因は數年來の農村不況にもよるが主因は當業者の無自覺及び飼養管理の不注意により早産または營養不良により斃死頭數が年々増加し本年度は三百頭に達した爲めなので郡産馬組合では極力更生に努力して居ると

## 平消防組員が

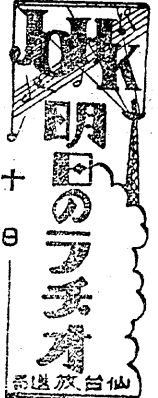
### 防空演習見學

平消防組自動車シヨレー隊浦井兼作氏外十餘名は今晚平發十二時五十分の準備にて目下東京を中心として行れてゐる防空演習見學の爲め上京すると

## 逃げる

### 避暑客

平町久保町四銀冶職鈴木百太郎（七）は本月二日より四



今晚も明日も北東の風晴れ曇り相半し處により驟雨

## 今晚の部

- ▲後六、〇〇 子供の時間 童話劇「笹舟小舟」などしこ會
- ▲後六、二五（東北北海道）産業講座「東北北海道の農業と酪農」北大教授農學博士宮腰富
- ▲後七、三〇 講演「禿髮症と圓形禿髮症のホルモン療法」東北帝大醫學部助教授醫學博士塚田進
- ▲前六、三〇 趣味の歴史講座（二部西洋史）「人間座」世界の發見（三講）
- ▲後八、〇〇 吹奏樂 錦城ブラスバンド
- ▲後八、三〇 箏曲原奏治
- ▲後八、五五 映畫物語「男子戦はさるべからず」木田牧童
- ▲後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告
- ▲前六、三〇 趣味の歴史講座（二部西洋史）「人間座」世界の發見（三講）
- ▲後七、三〇 防空情報
- ▲後六、〇〇 子供の時間

## 明日の部

- ▲東北學院高等部教授 良泰
- ▲前七、三〇 夏期ドイツ語講座（八三）浦吉兵様
- ▲前九、一〇 料理献立「紫蘇豆腐の冷奴」小野やす子
- ▲前二、〇〇 野球試合實況「第七回都市對抗長球大會」
- ▲前二、三〇 家庭講座「昔の女房今の妻」川上三太郎
- ▲後〇、〇五 浪花節「夕立勘五郎」東家燕左衛門
- ▲後二、〇〇 夏期講習「長唄のお稽古（九）杵家彌七
- ▲後三、三〇 防空情報
- ▲後六、〇〇 子供の時間
- ▲お話燈火管制「陸軍科學研究所陸軍工兵大尉石川清一
- ▲後六、二五（東北北海道）産業講座「我國木産業の特殊性と其改革方針」北大水産專門部教授農學博士大島幸吉
- ▲後七、三〇 講演「靈魂の行衛」安部三郎
- ▲後八、〇〇 尺八「軍旗」酒井竹保
- ▲八、二〇 軍歌管絃樂件奏「日本陸軍の歌」外五ッ江頭林次郎
- ▲大阪ラジオオーケストラ指揮福喜多鎮雄
- ▲後八、五〇 義太夫豊竹昇之助

## 事情の知らぬ

### 家人を騙して

#### 五十圓詐取して逃走

千葉市元町三丁目生れ住所不定窃盜前科四犯白井德藏（三）は去月十六日宮城刑務所を出獄して各所を荒し廻つて居たが昨日八日午後四時頃平町鎌田町伊藤金藤方に至り主人不在を奇貨して伊藤に賣却せる商品代と偽つて事情知らぬ家人を騙し五十圓を詐取逃走紺屋町扇屋旅館に宿泊した處を手配中の平署員に取押へられ目下餘罪取網中

## 連れ出され女給

### 江名に身を匿す

心配した父親の搜索願 漸く所在が判る

東京市荒川区日暮里町六丁目佐藤政男（三）は本月三日同入方二階を間借りして居る女給後藤フミ（一六）を言葉

## 平職業紹介所報告

- 求人を求める方
- △船大工 四十迄 食事付 日給一圓二十錢（岩手縣某）
- △小店員 十五才 尋卒 給料面談（平町某）
- △石綿工見習 十六才 尋卒 仕着小遣（平町某）
- 回職を求める方
- △電工 十八才 高卒 給料面談（平町某）
- △外務員 二十四才 中三 修 給料面談（内郷村某）
- △集金員 二十五才 高卒 給料面談（内郷村某）

# 銘劍秘笈録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第十一回 血に飢ゆる村正

村正が向ふ搥

資正も吃驚して

資「オヤ夫では貴方も刀鍛冶で在つしやいますか」

村「ハイ、私は相模國源氏山に住居致す五郎正宗の末の弟子で仙吾村正と申す者でございます」

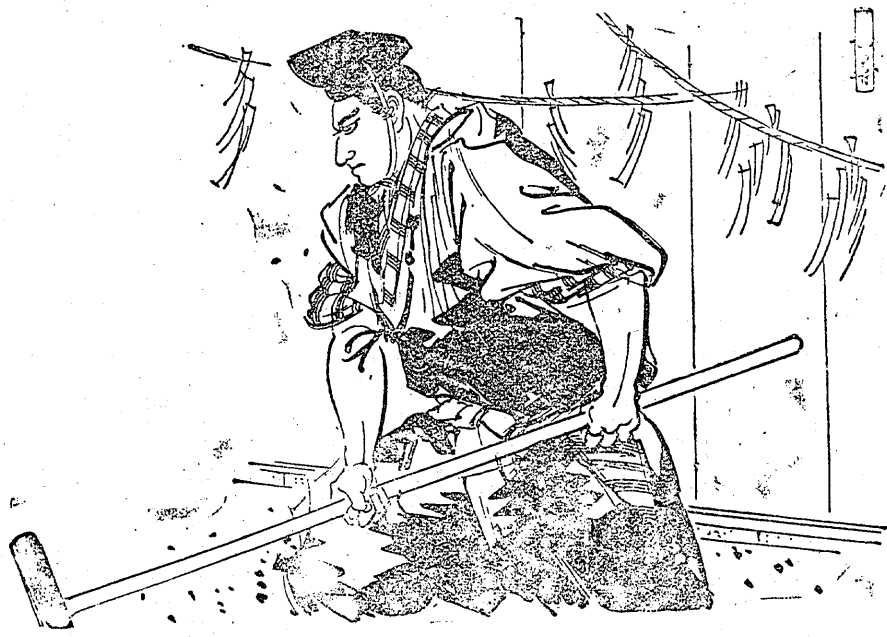
資「オウ、鎌倉の正宗先生のお弟子でいらつしやいますか、夫なれば私の心持も能く判つて下さいませうからお話を致しますが、當國に雜賀明神と申す神社が御座います、之は頼朝公の時代より江洲佐々木の先祖を祀りました社で、當國の守護神となつて居ります、そこで雜賀明神より十里四方に住んで居ります刀鍛冶は毎年一口づゝの刀を納めるのが習慣になつております」

村「成程」

資「そこで他國より有名な先生方がお出になつて其の刀の鑑定を致し上の一、上の二、上の三と定め、その三名だけは一別の額に刀を掛け、其の下へ名前を大きく書いて額堂へ上げる事が出来ませんが、其他の者は大きい額に一纏めにして名前を書かれるのでございませう」

す、處が毎年其の上の一を京都の長谷部國重先生に取られるので實に残念でございます、私の父の資重が和泉の國から出て來まして、

當年九月十五日の當日、又復上の一に上る事が出来ないうやうなら何の面目あつて土地の人に顔が合はされませう、父資重も私の爲に此の國を立退かなければなりません、當年の鑑定役は備前國の住人孫左衛門尉兼光殿、迎も私の未熟な腕では上の一はさて置き額を上げの事は出来まいと考へると世の中が厭になりまして寧ろその事死んで了はうと覺悟を致した様な次第でございます」



此の越川の水の質が宜いと云ふので、長く仙石村に住居を致し、刀を鍛つて居ります。夫であるのに、一度ならず二度までも失敗致し

之を聞いて村正が村「夫れは甚だ貴所が御短氣だ、一度や二度失敗をしたからとて別段恥辱と云ふ事は無い、夫れに三度目

と懇々と村正に意見をされて資正大いに感じ入り資「有難ふ存じます、成程私が心得違ひでございませう、貴所は命の恩人、どうぞ手前共へお出下さいませ、親父からもお禮を申し上げます度うございませうか

しやるには及びませんが兎に角御尊父にもお目に掛り度いから御一所に参りませう」そこで連れ立つて仙石村の資重宅へ來る、資正から父に一伍一什を物語つたから、資重は一度は驚き、又無事の歸宅を喜び、村正に厚く禮を述べ、伴資正には深く短氣を戒める、何しろ資正の大人といふので一家の者が村正を下へも置かないやうに待遇するので村「餘り其のやうにお待遇では却て苦しいからどうかお構ひ下さるな、夫に資正殿は奉納の劍にお掛りなさい、手前が向ふ搥を致して差上げる」

資正親子は大きに喜び資「夫では何卒お願ひ申します」

と、何れも精進潔齋して天地の神に祈り、兩人一心になつて鍛へ始め、三七二十一日掛つて一口の劍を鍛へ上げました。

御用命は印刷物の總代理  
常磐日印刷株式會社  
電話三六〇番

外科 専門線光 X  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番

魚清食堂部  
平二警察署通り  
電話六三三番  
出前持至急入用

魚清新案の獨特な尖端的!!!  
せ印 朗アイス  
その風味!!! 香!!! フレッシュユな舌ざはり  
容器もモダンで涼味満喫!!!  
暑さ殿しい折柄皆様には  
御變りありませんか  
御伺ひ致します